

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（784））
2. 日時：平成30年3月19日 18時10分～18時15分
3. 場所：原子力規制庁 8階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

穂藤保安規定係長、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 課長 他1名

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。
- (2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- (3) 日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート
- ・安全施設及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書に係る補足説明資料（「可搬型重大事故等対処設備の保管場所及びアクセスルート」）
- ・東海第二発電所 工事計画に係る説明資料（V-1-1-2-2 津波への配慮に関する説明書）
- ・重大事故等クラス2容器の強度計算方法
- ・原子炉圧力容器内部構造物の応力解析の方針
- ・気水分離機及びスタンドパイプの応力計算書
- ・工事計画に係る補足説明資料 耐震性に関する説明書のうち補足-340-13（機電分耐震計算書の補足について）
- ・緊急時対策所の機能に関する説明書
- ・工事計画に係る補足説明資料 補足-320-1（緊急時対策所の機能に関する説明

書に係る補足説明資料)